

「減災社会プロジェクト」の概要と成果 Overview and Achievement of GSP Research Project

矢守克也

Katsuya YAMORI

GSP (Gensai Shakai Project), i.e., researches for building disaster reduction-centered society, is an interdisciplinary research project, which aims at exploring the way to build disaster resilient society. This project is focusing, based on the lessons we learned from the 2011 East Japan Catastrophe, more on disaster reduction rather than disaster prevention, more on interdisciplinary collaboration rather than separate efforts within individual discipline, more on practical implementation of scientific knowledge rather than basic science research. In this presentation, I will provide an overview of specific research projects which have been conducted in GSP.

1. 減災研究

「減災研究」に確固たる定義があるわけではない。しかし、たとえば、『減災』とは、わかりやすく言えば、被害が発生することを前提とした対応を用意し、被害の最小化に努めること」(河田恵昭氏*1)、「これは、創造的・競争的先端研究とは異なる課題解決的・協調的総合研究です。甚大な被害を軽減するためには、…(中略)…俯瞰的に考え身近で行動をするという、着眼大局・着手小局の実践が鍵を握ります」(福和伸夫氏*2)といったフレーズで、その中核的特性はすでに指摘されている。すなわち、第1に「防災よりも減災にウェイトを置いた研究」、第2に「文理工一体となった総合的な研究」、第3に「現象解明のみならず課題解決を志向した実践的な研究」といった特性である。

2. 主な研究プロジェクト

発表者は、「減災社会プロジェクト」(正式名称:「巨大地震津波災害に備える次世代型防災・減災社会形成のための研究事業」、2012-15年度、文部科学省)の副題に、「先端的防災研究と地域防災活動との相互参画型実践を通して」を掲げた。その上で、図1に掲げた3つの重点項目—「情報」「場」「人材」—を掲げて、以下の研究プロジェクトを推進してきた。

(1)「個別避難訓練タイムトライアル/動画カルテ」:最新の津波浸水想定と一般住民の避難訓練の結果を同時に可視化するツールを開発(高知県四万十町など)

(2)「満点計画学習プログラム」:最先端の地震

観測研究に小学生が参画する防災教育プログラム(京都府京丹波町、鳥取県日野町など)

(3)「阿武山観測所サイエンス・ミュージアム化構想」:トレーニングを受けた一般市民が地震学のアウトリーチを担当する取り組み(大阪府高槻市)

(4)「地域気象情報プロジェクト」:気象庁や地元自治体の協力を得つつ、地元住民が災害対応のきっかけとするための地域独自の気象情報(地域気象情報)を自ら作成・運用する(三重県伊勢市)

(5)「防災ゲーム:クロスロード(大洗編)」:東日本大震災の被災地茨城県大洗町で地域住民が被災や災害対応の経験を自らゲームツールとして作成し、今後の防災対策や防災教育に役立てる(茨城県大洗町)

(6)「避難シミュレーションを中核とした地域防災計画作成」:マルチエージェント・シミュレーションを中核として地域における津波避難計画を策定(高知県黒潮町、静岡県焼津市)

(7)「ぼうさい夢トーク」:防災研究所の最新の研究成果と研究者の「夢」をキーコンセプトに構成したアウトリーチラジオ番組(NHK 大阪との共同企画)

これらの成果の一端は、「減災学:5つのフロンティア」(新曜社、近刊)としてとりまとめて公表予定である。

(*1)<http://kuir.jm.kansai-u.ac.jp/dspace/bitstream/10112/3872/1/KU-1100-KAWATA-382.pdf>

(*2)<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/wp-content/uploads/2014/large/no254.pdf>